

MALWARE CONTAINMENT

ゲームを終えて...

無事、封じ込めはできましたでしょうか？

今回、皆さんは発生したセキュリティインシデントに対して、
「報告を受け取り」「調査し」「対応活動」といった初動対応を行いました。

世間では情報漏えいに関するニュースが報道されていますが、CSIRT は、
こういったサイバー攻撃被害に対応するだけの組織ではありません。

起こりうるサイバー攻撃を未然に防ぎ、被害があってもいち早く発見し、
その被害を極小化することも CSIRT の役割になります。

CSIRT とは

CSIRT (Computer Security Incident Response Team)

“サイバー攻撃による情報漏えいや障害など、コンピュータセキュリティにかかるインシデントに対応するための組織”

「サイバーセキュリティ経営ガイドライン ver 1.0」より

インシデントの例

情報漏えい

Web サイト改ざん

サービス妨害

マルウェア感染

- ▶ 未然に防ぐ
- ▶ 効率よく対応する
- ▶ 迅速に気付く
- ▶ 被害を最小化する

例えば...

外部からの情報受付窓口を持つ
外部機関と連携を行う

組織のシステム環境を整備して
調査が迅速に行えるようにする

インシデント発生時の体制を整え
内部調整・外部連携を行う

インシデント例について

Web サイト改ざん

サービス妨害



Web サイトにアクセスが集中し、Web サイトが利用できなくなってしまう

Web サイトが改ざんされ、マルウェアを配布するように書き換えられてしまう

マルウェア感染

情報漏えい



【金銭等を要求する、設定情報を窃取する攻撃】

- ランサムウェア

端末を「ロック」したり暗号化して使えなくして
元に戻すことを条件に金銭を要求する

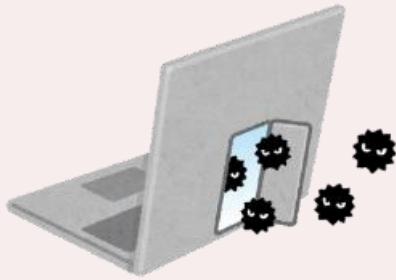
- スパイウェア

ユーザに関する情報を収集(アカウント情報など)
し、外部に送信する

インシデント例について

マルウェア感染

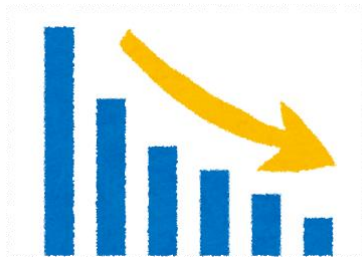
情報漏えい



【機密情報を狙った攻撃】

- 遠隔操作マルウェア / バックドア型マルウェア
端末を組織以外の人間が操作できるよう設定し
組織内の端末を調査、機密情報を盗み出す

対応できないと...



サービスが運用できず
業績が低下する



なりすまされて
不正にお金が使われる



お客様の個人情報が
盗まれ、責任問題になる


CSIRT のメンバー

プレイしてもらった役職



コマンダー

CSIRT チームの統括を行う。
また、組織としての意思決定
を行う経営陣や CISO と
情報連携をして支援する。



リサーチャー

インシデントの情報を収集する。
セキュリティ製品を用いて、異常
がないか確認する。攻撃に関する
プロファイリングも行う。



フォレンジックエンジニア

感染した端末の証拠保全を行う
と共に、システムの鑑識や、
精密な検査や解析を行う。
消されたデータの復元したりも。



ノーティフィケーション

インシデント発生の際に関連部署
のハブとなり情報を発信する。
社内システムに影響が及ぶ場合は、
IT 部門と調整を行ったりもする。



PoC (Point of Contact)

社外窓口として、情報連携を行う。（JPCERT/CC, 経産省, 警察など…）
社内窓口として、IT 部門だけでなく、法務や広報などとも情報連携する。
情報を正しく、さじ加減が分かったトークスキルが重要。



ソリューションアナリスト

自社組織のビジネス計画に合わせてセキュリティ戦略を決定する。
「リスク」を評価し、導入するソリューションの有効性を確認する。
確認した結果から、その改善計画を考える。



脆弱性診断士

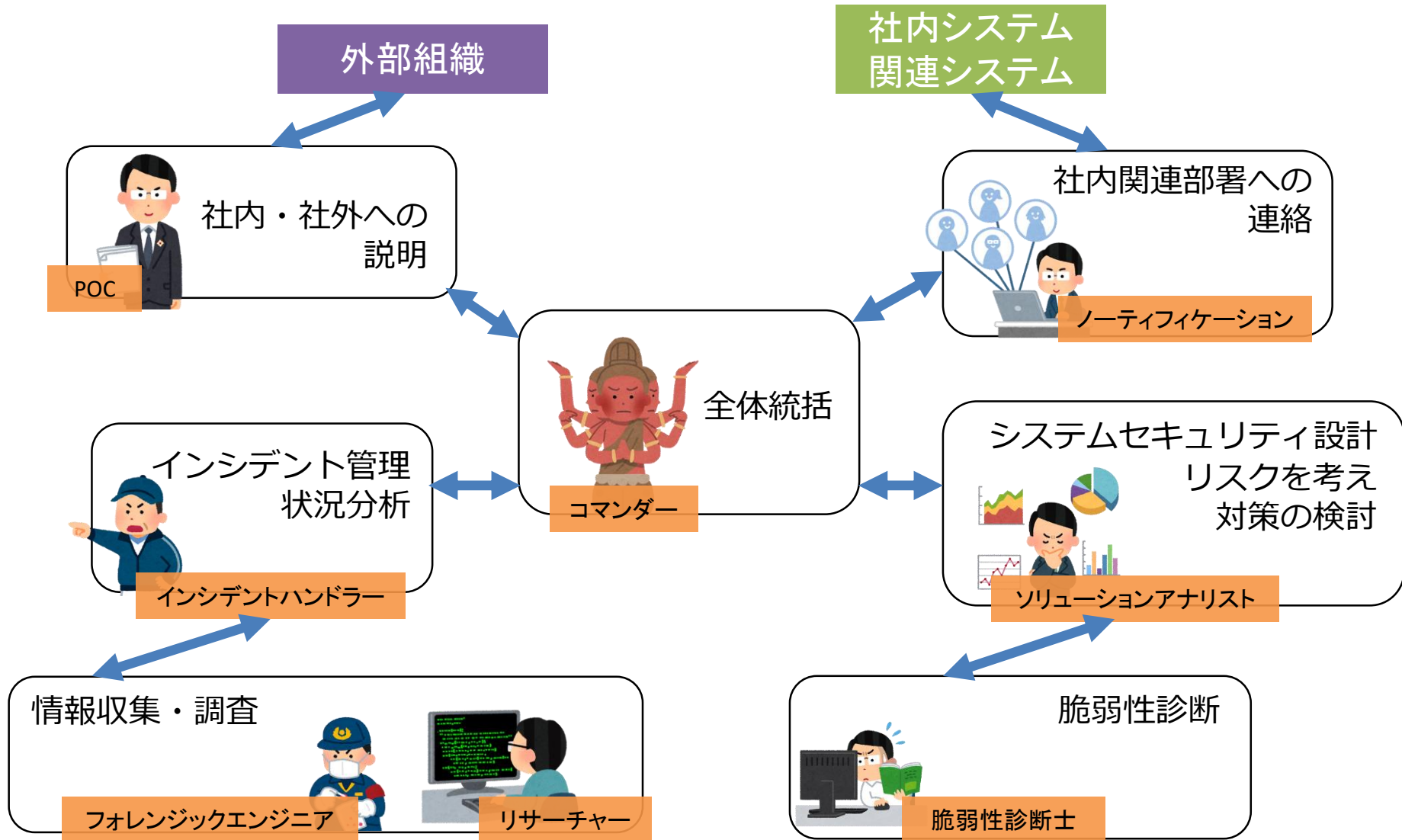
ネットワークやアプリケーション、ソフトウェアがセキュリティに
考慮したプログラミングがされているかの検査を行い、評価する。



インシデントハンドラー

インシデント対応時に、調査等を行うメンバーに指示を出し、
報告を受け取って、対応状況を把握する。対応履歴を確認すると共に
コマンダーへ状況を報告する。

CSIRT チームの例



ゲームに出なかった役割も

参考資料

JNSA

セキュリティ知識分野(SecBoK) 人材スキルマップ 2016年度版



「セキュリティ知識分野(SecBoK)人材スキルマップ2016年版」概要

～現在最も必要とされる人材にスコープして公開～

NPO日本ネットワークセ

Copyright (c) 2016

役割(ロール)	役割定義(ユーザー企業におけるおもな役割)	セキュリティベンダー職
1 CSIO(最高情報セキュリティ責任者)	社内の情報セキュリティを統括する。セキュリティ確保の観点から、CIO(最高情報セキュリティ責任者)、CFO(最高財務責任者)と必要に応じて対峙する。	
2 POC(Point of Contact)	社内外では、ISO 27001/27002、NISC、警察、監査官庁、JICA、他CSIRT等との連絡窓口。社内向けではIT部門と調整担当社内の法務、渉外、IT部門、広報、各事業部署との連絡窓口となり、それぞれ情報連携を行う。	(これらの役割は外部委託しないことを前提とする)
3 ノーティアクション	組織内を調整し、社内各関係部署への情報伝達を行う。社内システムに影響を及ぼす場合にはIT部門と調整を行う。	
4 コマンドー	自社で発生しているセキュリティインシデントの全体統制を行う。重大なインシデントに際してはCSIOや経営層との情報連携を行う。また、CSIOや経営層の意思決定を際の支援を行う。	
5 トリアージ	事象に対する対応における優先順位を決定する。	
6 インシデントマネージャー	インシデントハンドラーに指示を出し、インシデントの対応状況を把握する。対応進展を管理するとともにコマンドーへ状況を報告する。	インシデントハンドラー
7 インシデントハンドラー	インシデントの処理を行う。セキュリティベンダーに協力を依頼している場合には指示を適切に連携し、管理を行う。状況はインシデントマネージャーに報告する。	インシデントハンドラー
8 キュレーター	リサーチerの収集した情報を分析し、その情報を自社に適用すべきかの決定を行う。リサーチerと合わせてSOC(セキュリティオペレーションセンター)とすることが多い。	SOCアナリスト
9 リサーチer	セキュリティイベント、脅威情報、脆弱性情報、攻撃者のプロファイル情報、国際情勢の把握、メディア情報などを収集し、キュレーターに引渡す。収集のみでSOCアナリスト	

- 情報セキュリティに関わる人材が、身につけるべき知識とスキルを整理したもの
- セキュリティ人材が担うべき業務を、職種単位ではなく、役割ごとに定義
- 学習すべき事項についても役割ごとに整理してまとめられている

セキュリティ対応組織の教科書 第1.0版



図 6 セキュリティ対応の役割分担

- SOC(Security Operation Center) やCSIRT (Computer Security Incident Respose Team) においてどのような機能、役割、人材が必要となるかまとめたもの**
- 役割分担の考え方や、組織パターン、対応体制(人員など)にも言及されている

感染経緯①

メールに添付されている不審な添付ファイルの開封

不審なメールの例

件名：請求書をお送りします
本文：お疲れ様です。遅くなりました。
ご依頼の請求書をお送りします。

ご確認の上、お手配よろしくお願
いします。また、こちらの URL
でも確認が可能です。

<http://www.example.com/~>

不審な添付ファイルの例



見積もり用写真.xlsx.exe

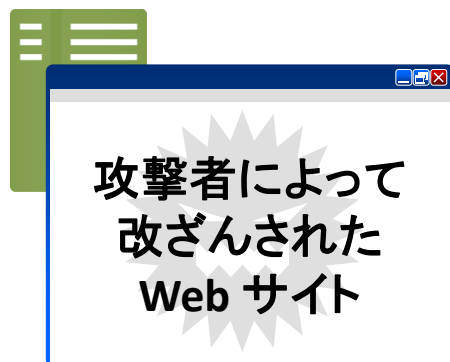
アイコンを偽装している
実は exe ファイル

アイコンを誤解させやすいよう、
ファイル名もわかりにくく

宛先や差出人、内容に見覚えのない不審なメールには注意しましょう。
少しでも不審に思ったら添付ファイルは開封しないようにしましょう。

感染経緯②

改ざんされた Web サイト経由での感染

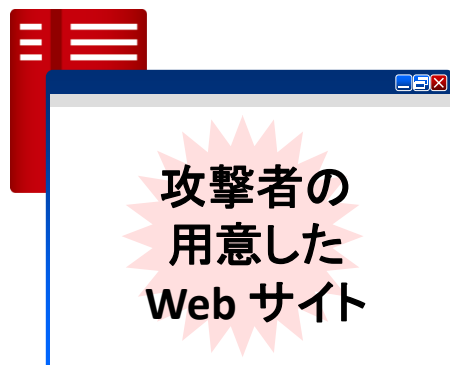


① 日常的に利用している
ウェブサイト閲覧



ユーザー端末

② 意図せず、別サイトに
誘導される



③ マルウェアをダウン
ロードさせる



使用している製品やソフトウェア
のバージョンアップデートを適切
に行いましょう

IE などのブラウザ / Java / Flash Player 等
脆弱性が未修正のままだと
マルウェアに感染する可能性がある